

COURSE CREATE

Open-road, Closed-circuit,
School, Media, Academy



《いわくに研究会》

〒740-0044

岩国市通津 1951-10

T.090-5573-9372

F.03-6368-4661

E. nqa50755@nifty.com

毛利チャレンジNEXT +

サイクル県やまぐち“ファミリーサイクリング”Project

⇒ サークルナイン

「街道」「山道」「町の道」山口丸ごとサイクリング!

「THT26」を核に人材交流と情報発信を再整備して地域貢献型マルチサイクリングクラブの基礎を作ろう!

【岩国市への提言】

山代・岩国・防長を ゲーム旅で斬ってみた!?

◆雙津峡温泉で見つけた看板二種⇒

上:周防山代は玖北、周東、鹿野、徳山に及ぶ!

本郷と萩は山代街道で結ばれていた。

下:山陽と山陰を結ぶ江戸、明治、昭和の三代の道。

この先にある星坂は、河川争奪の現場。



◆岩国市と由宇町の市町境で見つけた看板
吉川広家公の上陸地と記してある!



海上交通が盛んな時代には、ここは
由宇の玄関口でした。慶長五年二六〇
〇年間に、原の戦いの後、岩国地方の領
主になった吉川広家の軍は大阪より
この地の上陸し、領内を領にどりか
かりました。

◆長門市の大寧寺と貴布禰神社の家紋
大内菱と一文字三星が県内には混在!?



天正二年(1574)に、
当主大内義隆
により山口を
る当寺に逃れ
を請い、従
三十一代に
主従の墓は重

岩国市議会議員各位

向春の候、皆様には益々ご活躍のことと拝察申し上げます。
遅くなりましたが当選おめでとございます。市政運営に期待します。

さて、山口きらめき財団の助成事業「毛利チャレンジ2018」の総括報告に合わせたご連絡になりましたが、本来なら5月の超大型連休に実施予定のゲーム旅企画への協力依頼として、昨年中に行うものでした。

その意味では“旬”を逃していますが、総括で見えてきた原点回帰への方向転換の要素を加えた方が、より深くより広い課題に接することが出来ると、前向きに捉えています。それ故に、書き出しを「らん高原MTBパーク」にするか、「岩国かるたドライブ里の駅巡り」にするか、「サイクル県やまぐち“ファミリーサイクリングクラブ”プロジェクト」にするか悩み、一連のゲーム旅のトレジャーポイント調査等で集めた、組み写真となりました。

その組み写真ですが、周防山代のエリア解説と、三代の道(周防北街道・県道134号線・国道434号線)の解説は、“やましる羅漢スターリッジトレイル”の山道調査時等で利用する温泉施設で見かけたもので、周防北街道の石垣は今も整然と残っています。

また唐樋の解説看板は、「岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金」を利用し、いわくにバス一日乗車券を利用して行った“くるっと岩国2016◇海岸往復コース”でも調査していて、今回の“毛利チャレンジ2018◇岩国通津散歩”の三択クイズにも採用した歴史的価値の高いものです。

そして、長門市の大寧寺と貴布禰神社は、「新・防長三白を探せ!」をキャッチコピーに実施した“防長かるたドライブ2017/米の回”で調査したもので、つまり「いわくに研究会」の最近の活動は、ゲーム旅等を通じた地域資源再発見とその利活用の提案であり、それをまずご理解頂ければと思います。

それらを踏まえた提言となりますが、「①石橋を叩いても渡らない岩国市と、サイクル県やまぐちとの連携と、Go羅漢ハイランドギャザリングについての提言」、「②里の駅の立体企画と、地域資源を巡る移動手段の確保と、参加者のモチベーションを上げる工夫についての提言」、そして「③自転車活用推進計画の限界と、玉石混合の自転車ソフトと、スーパー先達で読み解く日本の実情についての提言」の三つになります。

①「石橋を叩いても渡らない」と「サイクル県やまぐち」と「Go羅漢」について・・・



錦川沿いの国道187号線は構造上危険箇所が多く、サイクリングイベントの企画は岩国市では敬遠されている。

しかし、外国人サイクリストは広島～宮島～錦帯橋～津和野～萩～下関と巡るゴールデンルートとしてSNS上で情報交換をしている。

石橋を叩いても渡らない判断は正しいと思うが、個人利用の判断を止めることは出来ない。それなりの企画があるはずで、知恵を絞りたい！

▲南桑駅付近は、水害後の改修で路肩の無い国道に。自転車の走行は原則「道路」の左側で問題は無い？



広島県知事と山口県知事との会話から生まれた「サイクル県やまぐち」は、明治維新150周年関連企画として3年間限定予算で実施された。

「クリテリウムレース」や「ロードレース」や「MTB国際ダウンヒル」などのシンボルイベントを行う一方で、各市町の企画への助成金をプールする。

岩国市の意向は上記のものだが、県は2年間の継続を決め、助成金もそのまま、アプローチの価値はある。

▲「Expanded All Yamaguchi Ride Festa2019(仮称)」として岩国でも何か具体化しませんか？



「Go羅漢ハイランドギャザリング」は、昨年夏の定点観察や、周辺の山道整備を通じて、その可能性を強く感じ、9月には素案を考えていた。

サイクル県やまぐちの担当者も、その可能性を支持しており、GWに向けて年内に擦り合わせをする予定が越年に。

その間、県立自然公園内常設コース設置の検討を進め、県農林事務所担当者の視察と、地籍の確認を済ませ、申請用コースレイアウトを考えたところ。

▲GO羅漢ハイランドギャザリング2018のチラシ案等を参照に、独自のMTBイベントの定期開催を！

★「石橋を叩いても渡らない」は、ある意味正解です。多くのサイクリングイベントは、道路の目的外使用に当たり、問題も少なくありません。シンボルイベントがクローズドサーキットのように助成金へのアプローチは、過去に実施実績もあり、競技連盟の隠密調査も入っている羅漢での、MTBイベントが最短距離と思われま

②「里の駅立体企画」と「地域資源を巡る移動手段」と「参加者のモチベーション」について…



初日の集合写真。会場提供の錦パレスに感謝！

岩国錦帯橋空港開港一周年応援企画として、里の駅ネットワーク等の後援を得て、雙津峡温泉・錦パレス宿泊にて、一泊二日のプレ走行会を行う。

「里の駅」は、やましろ商工会エリアの7箇所と、岩国西商工会エリアの4箇所と錦帯橋の1箇所を合わせた12施設が現在登録している。

ゲーム旅のトレジャーポイントだけでなく、買い物&焼肉タスクや、宿泊&利き酒タスクなどで連携する。

▲市役所~錦帯橋~由宇・玖珂・周東・美川~広瀬~錦パレス~吉賀~本郷~美和~和木~空港~市役所の推奨ルートで実施！



ご存知の方はいまいせんか。9枚ある矢印看板の一番上は「MCASbe afortli 864km」で一番下は「Yokota AB672km」。1枚が欠けていて経年劣化の哀愁が…。因みにMCASは海兵隊基地、ABは空軍基地です。岩国基地から他基地までの距離を示したものを「マストリーズム」と言います。

R：岩国錦帯橋空港を臨む滑走路端にある地名表示。一番近いのは？
1：916km 2：892km 3：872km

立体企画とは、告知・当日・取材レポート報告・追体験や、移動・ゲーム・買い物・宿泊などを複合的に行い、イベントのためのイベントに終わらない予算配分や工夫をするもの。

その手法のひとつとして、媒体とのコラボがあり、「夏かるた～冬かるた～春かるた」に合わせて「日刊いわくに」に、計12回の連載をする。

「冬かるた」は不発だったが、「春かるた」はそれなりの参加者があった！

▲平成27年(2015年)2月27日の紙面。この記事を読んで矢印モニュメントの設置者から連絡があった！？



この項だけでも「かるたドライブ」、「自転車さんぽ」、「バス一日乗車券利用」と、様々な移動手段を利用しているが…。

ドライブは、天候に左右されず、ファミリーで楽しみ、買い物タスクも相性抜群だが、駐車場問題が…。

観光地を丁寧に巡るサイクリングは、アウトドアスポーツであり、エネルギー消耗スポーツのため、実はハードルが…。

公共交通機関は、点・線・面を自由に楽しむゲーム旅との相性が…。

▲明治維新150周年応援企画「毛利チャレンジ」アイドリング編では、様々な移動手段を検証！初回はレンタサイクル。